

WEEKLY REPORT

No. 1453

<本年度クラブ会長方針>

家族に感謝、職場に感謝

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 松本 哲朗 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F  
幹事 杉本 忠夫 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

インスピレーションになろう

<2018-19年度R.I.テーマ>  
R.I.会長 パリー・ラシン

第1697回例会

職業奉仕月間  
平成31年1月24日(木)  
外部卓話  
於 名古屋東急ホテル

出席計算数  
47名中36名出席  
出席率 76.60%  
前々回出席率 87.76%  
23%

例会プログラム

- ★渡辺国際奉仕委員長  
地区補助金事業「ミャンマー国  
マンダレー市域の内戦孤児院へ  
の設備支援」現地確認と、台湾  
桃園西門RC表敬訪問の旅
- ★春日井クラブ奉仕委員長  
「2019年くしえいがさ」案内
- ★外部卓話

ロータリーソング

「我等の生業」  
指揮者 前田 隆久  
ピアノ伴奏 富根 玲子

ゲスト

東海典礼株式会社営業部  
久野真一郎さん  
東海典礼株式会社専務取締役  
三輪 浩さん  
二輪 浩さん

会費組織委員会ゲスト

(春日井和良さん(友人)  
有限会社「ニワークス」  
代表取締役 仲林 宏昌さん

インター

羽島RC  
会長エレクト 松田 和彦さん

「ニコボックス」

本日はこちらへお願い致します。  
羽島RC 小原由美子さん  
見学させて頂きます。よろしくお  
願いします。  
羽島RC会長エレクト

松田 和彦さん

久野さん、お葬式の話よろしくお  
願致します。横木社長にもよろしく  
お伝えください。 松本 哲朗  
卓話よろしくお願致します。

杉本 忠夫・酒井 修

久野様卓話よろしくお願致します。

川合 美幸

仲林さんようこそ名古屋大須RC  
へ。 丹下 富博

仲林宏昌さんようこそ名古屋大須  
RCの例会にお越し下さいました。

春口井和良

吉田 明夫・林 順治

寒くなりました。 荻葉 賢一

寒くなりましたね。インフルエン  
ザ、風邪に注意しましょう。

昨日も郡上へスキーに行ってきた  
しました。あいにく天気は雪でした。

吉田 隆彦  
やつと優勝しました。草野 勝彦  
岡田さん、ありがとうございます。  
た。コンペ準備勝しました。

川合さん、ありがとうございます  
た!!  
大上 晃延  
誕生月です。 加藤巴千彦

妻の誕生月です。 加藤巴千彦

今日は家内の誕生日です。

大原 敏正

愛する妻のBirthdayです。

川島 勇基

会長挨拶  
「南極大陸(2)」

松本 哲朗

前回南極  
大陸には4,  
000M級の  
山がいく  
つも有ると  
話しました  
ところ、山  
のエクス  
パートの尾上  
さんがすべ  
さまメモを持ってこられて、最高峰  
は南極半島の付け根にある4,899  
2Mのウィンソン・マシフ峰だと、  
アドバイスをいただきました。

南極大陸が1820年に発見さ  
れてから200年になります。各  
地域で領有権を主張する国が複数  
ありますが世界的には認められて  
いません。南極条約が日本を含め  
12か国で1959年に採択され、  
南極地域の平和的利用(軍事的利  
用の禁止)、科学的調査の自由と国  
際協力、南極地域における領土主  
権請求権の凍結、核爆発、放射性廃

棄物の処分禁止などが決められ  
ています。現在の締結国は52か国  
になっています。

日本の昭和基地ですが、1957  
年に標高30Mほどの東オングル島  
に作られました。今は大小60棟ほ  
どがミサワホームの木造プレハブ  
でできており、天体、気象、地球科  
学、生物学の観測を行っています。

観測隊員は60人ほどで、毎年2月  
に順に交代があり、今年は第60次  
観測隊になります。

南極観光は費用がかかりますが、  
南米の先端からクルーズ船で回る  
とか、飛行機で上陸してベースキ  
ャンプで1週間過ごすなど種類も  
あの年間2万人ほど訪れています。  
寒さに強く暇な方にはお勧めです。

卓話

「お葬式よりも話」

「葬儀費も現場費も起る様々なき  
」にて舞台裏の舞臺屋さんの日々」  
東海典礼(株)営業部  
久野真一郎さん



ただいまご紹介に与りました。  
東海典礼(株) 久野真一郎と申しま

す。今回カルフミア樹の川合社長より「縁をいただきましたが、若輩者で僭越ではございますが少しお話しさせていただけます。」

私が勤めております東海典礼樹は、名東区に本社を置く葬儀会社でございます。私は主に葬祭業務に携わっており、今年で8年目になります。まだまだ諸先輩方の経験はとうとう及びませんが、それでもほんとうに多くの方々のお葬式を手伝わせていただきました。

本日は「お葬式よもやま話」と題しまして、葬儀業界にまつわる話やお葬式の現場での出来事、舞台裏で働いていられる「葬儀屋さん」と呼ばれる我々の日々などをお話しさせていただきます。よろしくお願いたします。

**お葬式に関わる人々**

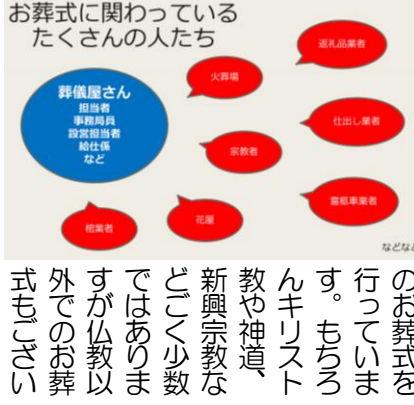
はじめに、お葬式に関わる方々についておまかにお話しさせていただきます。一口に「葬儀屋」といっても様々な業務があり、それぞれの役割があります。私の主な役割は「お葬式の担当業者」です。お葬式の依頼をいただくべく、病院へお伺いになった方をお迎えに行き、お葬式の打ち合わせ・見積もりなどを行います。またお葬式会場の準備や通夜・告別式の進行はお葬式が終わった後は集金や今後の法要・納骨などのご相談をさせていただきます。現場監督・

テレビで言うところのユーザーのよきな立ち位置でしょうか。

他にもお客様からの電話対応、顧客情報管理や請求書の作成などの業務を行う事務員や式場設備や担当者のサポートなどを行うスタッフ、食事の配膳やお茶出し、喪服の着付など身の回りの手伝いをさせていただく給仕スタッフ（主に女性）などが葬儀社で働くスタッフです。

続いてお葬式に関わっていたいただいている（実際に皆様がお葬式の現場で目にする機会はありません）かとは思いますが、葬儀屋以外の方々をご紹介します。

まずは「火葬場」で働く方々。地方のご一部で土葬をすることがあると聞いたことはありますが、現在日本ではお葬式はほとんど100%に近い割合で火葬を行っています。続いて「宗教者」。実は名古屋地区は京都よりもお寺の数が多く、ほとんどの方が仏式で



のお葬式を行っています。もちろんキリスト教や神道、新興宗教などごく少数ではあります。が仏教以外のお葬式もござい

ます。続いて「花屋」。人類の祖先は「骸骨」に花を手付けていたという史実があるくらい、お葬式ではお花が大切です。今では生花の祭壇を飾ることが多く、また供花などにも使われており、なくてはならない存在です。他にも「棺業者」「返礼品業者」「仕出し業者」「霊柩車業者」など、様々な方々とお葬式をつなげています。

次に我々「葬儀屋」の仕事を少し紹介させていただきます。皆様は通夜や告別式の場で葬儀屋を目にするかと思いますが、それ以外でどのようなことをやっているのか、基本的に葬儀屋は24時間営業のため、朝・昼・夜・夜中と区切ってスタッフがそれぞれ協力しながら日々仕事を行っています。どうしても仕事柄、夜中や明け方にもお葬式の依頼がありますので、徹夜にならざるを得ない状況です。

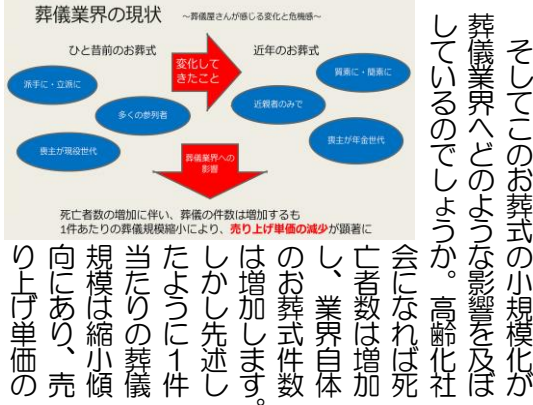
葬儀屋さんのお仕事 ~とある一日のスタッフのお仕事~

	スタッフさん	スタッフさん	スタッフさん
朝	〇〇家 葬儀・色紙の担当	●●家 集金・法要の相談	〇〇家 葬儀・色紙の受付
昼	〇〇家 式場の片付け・初七日	〇〇家 通夜の準備	〇〇家 式場受付・ワマ車 通夜準備
夜	△△家 通夜のお迎え・納送	△△家 通夜の担当	△△家 通夜の受付
夜中	△△家 お葬式の打ち合わせ	電話番	〇〇家 病院へお迎え・納送

葬儀業界の現状  
 続いて、我々が感じているお葬

式の変化や危機感を少しお話しします。あちこちに葬儀会館がなく自宅やお寺で葬式をしていた昔前と、家族葬や直葬といった言葉が流行りだした近年では、お葬式にどのような変化が現れてきたのでしょうか。

以前は「派手に・立派に」というのが当たり前でしたが、最近ではほとんどの方が「質素に・簡素に」と言われます。また昔は会社や町内の方も含めて多くの方が参列されていましたが、今では近い方だけの小規模なお葬式も増えています。その背景として、超高齢化・長寿命化が一因として挙げられますが、亡くなる方の年齢が80歳を超える方も多く、喪主をされる方の年齢も高齢化し現役世代の方から年金世代へと変化してきました。



減少が顕著に表れてきます。いずれは人生100年時代が来るとも言われています。亡くなる人が増えるとお葬式も増える、「終活」をやってみようという方も増えてきます。しかしそこには様々な方々がお金儲けをたくらむ怪しい人たちもいます。皆様もこんな人々には注意していただきたいです。

例えば、最近現れたのが「終活」を謳うのにやらあやしげなブロンナーやアドバイザーといった人たち。調べてみますと「受講料〇〇円で講習を受ける」とあなたも簡単に資格がとれます。相続やお葬式お墓のアドバイスができません。なご書いてあったりします。全てが怪しいと言いきれませんが、葬儀社で働いたこともない人にお葬式の相談をしても本当に大丈夫なのでしょうか、財産の相談も税に素人に相談する意味があるのでしようか。

ほかに「エンディング」「プランナー」やアドバイザーなど横文字を使いたがる方々にも注意してください。こういった資格を持つ方から年会費を集め、受講料をいただくというひとつの資格ビジネスなのではないかと勘繰ってしまいます。

そしてもうひとつあやしげな人たちがいるのがお葬式関連の「ホ

「ータルサイト」いわゆる仲介業者やそれに関連するコラムや記事などを書いています。インターネットページ・サイトです。今やインターネット上にはこの業界にもポータルサイトが存在します。葬儀業界もかなりでインターネットを使って集客し、登録している葬儀屋へ送客しています。見方によってはビジネスのひとつに見えますが、これは先ほどの終活「ランナー」と同じで、お葬式の仕事をしたくないインターネットベンチャー企業が葬儀社のページを手ねてやっていることがほとんどです。お葬式の素人が手数料欲しさに故人への尊厳も争つたための大切な儀式も無視して、直葬がお値打ちですよ、と宣伝しているわけです。そんなポータルサイトへ誘導するためのお葬式の情報が載ったサイトも山ほど存在します。自作自演で作っていることも多いですが、故人やお葬式をお金儲けの道具としか思っていない人たちがいるのも事実です。

### 危惧している本当の問題点

「ここまで業界の現状なことをお話いたしました。葬儀屋として危惧している本当の問題点をお話します。お葬式とは言いまでもなく亡くなった方を弔うことであり、ご先祖供養をすることは私たちが生かされていることへの感謝でもあります。また、日本人にとって

非常に大切な文化としての側面も持っています。しかし我々が懸念しているのは、この弔いや供養といったことが一部でないがしろにされ、本来の意義や価値が失われてきていることにあります。

その要因には様々なことが考えられます。価値観や死生観、宗教離れや宗教に対する考え方、小規模なお葬式が増え知識や経験の減少・低下。お葬式に対する考え方はひとりひとりの価値観があり絶対ではありませんが、家族の絆や日本人の心遣いを世界が称賛しているのにお葬式本来の弔う心が失われ、ただの火葬サービスになってしまつてはいないか、一番大事な部分が失われてしまわないか、これが、危惧している本当の問題点です。

「ここまで少し重たい内容となつてしまいましたが、ここからの話題は業界の裏側のお話です。一昔前はタブーとされてきたお葬式の話。しかし最近ではテレビCM、書籍に雑誌、様々な媒体でお葬式の特集が組まれています。マスコミやインターネットなどが伝えることは本当なのか。そのカラクリをお話します。

テレビ番組やポータルサイトなどを見ると必ずこんなフレーズが出てきます。「料金が不透明だ！不透明だ！」見積もりの倍の請求書がきたー！なごというものも出て

### マスコミやインターネットが伝えることは本当なのか？

～葬儀屋さんが教えるワンポイント～

お葬式関連の番組やインターネットサイトを見ると必ずと言っていいくらい出てくるこんなフレーズ



きます。確かに、お葬式は使う式場や来る人数、飾る祭壇の規模、用意する食事や品物、火葬場へ行く霊

板車やマイクロバス、様々なことを決めなければなりません。そしてお葬式をする人によって内容や使用する数も様々です。当たり前ですが、お葬式に何人来るかというのは非常に予測が難しくもあります。しかし打ち合わせ・見積の段階で身内が何人来て参加が何人くらいで計算するとこれくらいの請求になる、といったのは簡単にわかります。葬儀屋的に述べると「料金が不透明だ！」が正しいといつことにはなるでしょうか。

「不透明だ！不透明だ！」となつてしまつ理由は、お葬式に対する知識がないからだと思えます。消費者は何か必要で何か必要でないかは知識がなければ判断ができません。そこで葬儀屋にこれも必要です、あれも必要ですと言われると「不透明だ！」となつてしまつてはいませんか。

続いて「葬儀屋はぼったくりだ！」というフレーズ。ある番組では棺や骨壺などの原価を出してこの価格設定はぼったくりです！

と声高に紹介していました。確かに今 Amazon でも棺の購入はできますし骨壺もネットや仏壇屋まで購入できます。

このフレーズの真意は、自社へ消費者をリードしようというネットベンチャー企業が、ポータルサイトを監修したり協賛したりして葬儀社を悪者にすることにあります。葬儀社もボランティアではないので利益を出さなければ社員も生活できません。「ぼったくりだ！」というフレーズには人件費やランニングコストといった意識が抜け落ちており、他社を悪者にしてまで何とか自社へ引き込みたいという気持ちが表れています。

また、「火葬場が空いてない」「1週間も待たされる」といった言葉もよく耳にしますが、これは一部本当の部分もあります。名古屋では現在八事と港区茶屋の2か所火葬場があり、最大で1日100名以上の火葬が可能で

す。名古屋市の人口統計上、毎日100名を超える方が亡くなり火葬場がパンクするといったことはありません。実際に名古屋市中では火葬場が混み合っていたとしても待つのは1日か2日です。それも反引など火葬場の休業日絡みからであり、「火葬場が空いてない」ということは当てはまりません。では一部本当の部分とは何か。実は東京などの都心部の話です

が少しややこしいのです。名古屋ではなじみがありませんが、東京の火葬場には公営と民営のものがあつます。しかし公営の火葬場はわずか2か所しかなく、民営の火葬場が7か所あります。当然料金に差があるため、値段の安い公営火葬場は人気があります。1,300万人を超える人口の東京都で2か所の公営火葬場。当然そこは混み合います。場合によっては1週間近く待つケースも稀にあるそうです。この部分のみピックアップすれば「1週間も待たされる」というのは一応ワンではないのです。

しかし前述したように民営の火葬場もあるため、利用できる火葬場自体は十分に存在します。ですから葬儀屋的に述べると「人気の公営火葬場が混んでいる場合は1週間待たされることもある」といのが正しいといつことにはなるでしょうか。

### お葬式の現場で起こる出来事と葬儀屋さんの本音

お葬式の現場で起こる出来事と葬儀屋さんの本音

打ち合わせの場面や、通夜・告別式でのいろいろな出来事、冷ややかなハブニングや参加者があるなど、そんなお葬式の本音と本音とを、

最後に、葬儀屋さんが見てきたお葬式の現場での出来事をいくつか紹介したいと思います。ご挨拶にありがたい。

国際ロータリー・ニュース

2019年1月3日

「19-20年度RII会長が

テーマを発表

世界をつなぐ

マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長エレクトは、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表し、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけました。

シケーター・ロータリークラブ（米国アラバマ州）会員のマローニー会長エレクトは1月14日（月）、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催中の次期ガバナーエレクトへの研修行事である国際協議会場で、19-20年度の会長テーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を発表する



2019-20年度のテーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を次期地区ガバナーに発表する マーク・ダニエル・マローニー会長エレクト（米国カリフォルニア州サンディエゴ）

「ロータリーは世界をつなぐ」を発表しました。

「最初の強調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです」とマローニー会長エレクトは述べました。

ロータリーでの経験の核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。

「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。「ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人ひと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれました」

さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人たちを特定するようすべてのロータリークラブとロータリーアクトクラブに促しました。

また、「ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とのつながり、共通の目的において未永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今

日、私たち全員をつなぐのはロータリーです」と続けました。

会長エレクトはさらに、忙しい職業人や家族の都合でも忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促しました。

「ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつくるべく必要があります」と会長エレクト。「これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取る」と、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します」

「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。「ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人ひと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれました」

2月7日(木) 例会の案内

例会変更 2月3日(日)

節分例会(贈答例会)

12時30分 受付  
12時30分 開始

於 大須観音本堂下会議室

2月14日(木) 例会の案内

SPEAK OUT DAY

公共イメージ向上委員会

- 前田 隆久・杉浦 令淑
- 川畑 博敬・竹林 正人
- \*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。

## 松本会長・岡田ゴルフ部会会長 W会長杯ゴルフ例会・新年会

平成31年1月20日(火)  
於 オールドレイクゴルフ倶楽部レイクコース

<優勝> 草野勝彦

このたび多くの強豪がいる中優勝できたことは、この上もない喜びです。努力の賜物と言いたところですが、まぎれもなく同伴競技者と、お世話くださった方々のお陰です。これからも楽しくゴルフをしたいと思ひます。

(優勝 草野勝彦さんは、表彰式欠席)

※準優勝 田崎雅三さん

※松本会長からの景品は、ゴルフクラブでした。

<準優勝> 田崎 雅三

<ニアピン>  
川合 美幸 大上 晃延  
酒井 修 中原 康雄 (2ホール)

<バスクロ> 田崎 雅三

<ドラコン> 草野 勝彦 川合 美幸

		OUT	IN	GROSS	NET
優勝	草野 勝彦	46	45	91	73
2位	田崎 雅三	40	44	84	74.4
3位	大上 晃延	46	48	94	74.8
BB	柴岡 正将	72	76	148	83.2

- 4 -